ご　挨　拶



「住みたくなるまち日本一～100年間ひとが増え続けるまち～」をめざして

2016（平成28）年10月10日、市制施行により富谷市が誕生しました。明治時代に富谷村として誕生して以来、昭和38年の町制施行や昭和・平成の大合併の際も、一度も合併せずにまちづくりを行い、5万人都市へと発展してまいりました。

本市は、住宅地や商業施設などの都市機能と、大亀山森林公園をはじめとする豊かな自然が調和したまちです。そして、江戸時代に奥州街道の宿場町「富谷宿」として栄えた歴史を感じる街並みが残されております。

本市の人口は、大規模な宅地開発が計画的に進められ、着実に人口増加を続けてきました。現在は、工業団地整備と企業誘致に取り組むほか、総合病院の立地推進、都市型自走式ロープウェイなど新たな基幹公共交通整備の調査研究、ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり」や、ゼロカーボンシティに向けた取組などを進めており、将来像に掲げる「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりを推進しています。

この「暮らしのガイドブック」には、市役所窓口での各種手続き、子育て、福祉、ごみ、防災など、富谷市にお住まいの皆様の日常に役立つ情報を掲載いたしました。ぜひお手元においていただき、行政サービスのご利用をはじめ日々の暮らしにお役立てください。

富谷市長　若生　裕俊

